



## 中部デザイン協会創立70周年に向けて、活動の軌跡を振り返る

中部デザイン協会(CDA)は、本年12月25日で、創立70周年を迎えます。

このため2020年4月～2021年3月末までの1年間を中部デザイン協会創立70周年記念事業年として記念事業を展開していきます。CDAの定時総会に合わせた講演会等これまで毎年開催している各種の経常事業も70周年記念事業イベントとして展開していくこととしています。70周年事業のとして中核事業(記念式典、記念講演会、記念展覧会等)は、2021年1月に国際デザインセンターを会場にして開催していく計画です。

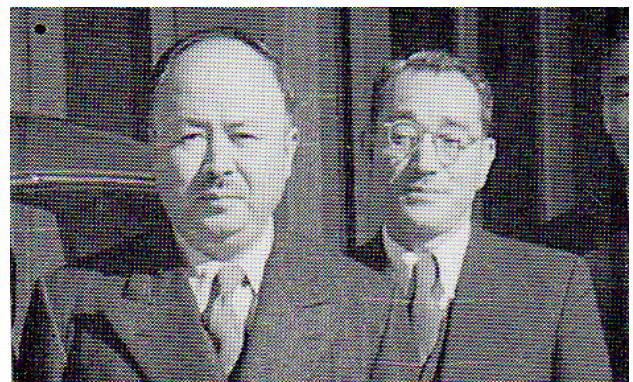
CDAは、1950年12月25日に愛知県が地域産業の振興並びにデザイン関係の人材育成を図る目的で愛知県工業指導所内に愛知県工業設計家協会として設置されました。戦後間もなくデザインが、まだ意匠、図案、工芸という言葉でいわれていた時期に、全国に先駆けてデザイン協会を設置し、産業界にデザインの重要性を示すとともにデザイン関係者の育成を図った、県行政の先見性が、CDAを育て、県との両輪の施策で、今日の愛知県のものづくり産業隆盛の基礎を築いたものと思われます。

当協会の70年間の足跡を辿ってみると、設立5年後の1955年に愛知県工業設計家協会から現在の中部デザイン協会に改称され、名実ともに日本で最も歴史を有するデザイン団体として活動が展開されました。CDAの初代会長には愛知県知事の桑原幹根氏を。委員長には、国の工芸指導所から愛知県工業指導所長として招聘した斉藤信治氏がなり工業指導所の職員が兼務し民間企業からの会員とともに企画・実施していました。

協会設立1年目には、デザインコンペ(工業設計図案懸賞募集)を実施、2年目に工業指導所開所1周年記念として、インダストリアルデザイン展を県との共催で実施しました。



ニッポン・グッド・デザイン・ショー



また、同時に建築家の丹下健三氏、グラフィックデザイナーの山名文夫氏を講師に迎えてインダストリアルデザイン講演会を開催いたしました。その後も、剣持勇氏、柳宗理氏、豊口克平氏、秋岡芳夫氏、小原二郎氏、黒川紀章氏など、日本のデザイン界を牽引したデザイナー、建築家を講師として招聘し、講演会、講習会を企画・開催していました。また全国に先駆けて実施したデザインコンペ、デザインキャピタルナゴヤ展、ニッポングッドデザインショーなどの展示会を愛知県と共催、協力して展開するなど、輝かしいデザイン振興の実績を残してきました。その後、1981年に県行政の組織改変で工業指導所が、愛知県工業技術センターに改変されるとともに協会の事務局も移転しました。協会の事業は、工業技術センターに移ってからも企業見学会やデザイン講習会、研究発表会など産業デザインの振興とデザイン関係者の資質向上にかかる事業を中核に進められていました。その間、CDAは、1985年に名古屋市、愛知県に協力して、日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)中部とともに、世界インダストリアルデザイン会議(ICSID)の名古屋招致を推進いたしました。その結果、1989年の名古屋市制100周年記念事業の「世界デザイン博覧会」や「世界デザイン会議(ICSID89Nagoya)」、名古屋市の「デザイン都市なごや」宣言につながりました。またこうしたデザイン動向が、この地域のデザイン団体の連携・強化を促進し、デザイン10団体による中部デザイン団体協議会(CCDO)の設立に至りました。こうした一連の名古屋のデザイン施策、運動体形成に、CDAは、大きな役割を果たしてきました。

中部デザイン協会 50周年のあゆみと新たな展望





1990年に愛知県デザインセンターに事務局を移してからは、企業見学会、デザイン講演会、研究発表会等の事業に加えて県デザインセンターの展示会場を使用してGマーク商品の展示やシルバーデザイン展、デザインの現場展など様々なデザイン展覧会を企画・展開してきました。

2012年3月末の愛知県デザインセンター閉館に伴い、4月から現在の国際デザインセンターにCDA事務局を移すまでは、県職員の協会員や県職OB会員が、事務局運営に携わり進めてきましたが、国際デザインセンターに事務局を移してからは、理事会機能を充実するとともに理事一人ひとりが、正会員から委員を選出し事業を企画推進する体制を整え、会員主導で様々な事業を展開して今日に至っています。

さて、中部デザイン協会は、50周年、60周年、65周年と節目の年に周年事業を展開してきました。昭和、平成、令和と受け継がれた今回の70周年記念は、CDAの長い活動実績を踏まえて、デザイン記念式典、記念講演会（基調講演、特別講演等）、記念展覧会、記念誌の発刊、記念レセプションなど多彩な事業が計画されています。



70周年記念事業においては、記念イベントの企画・実施を通して正会員と法人会員が、コラボして周年事業をすすめ、法人会員との新たなあり方を構築するとともに、愛知県、名古屋市、国際デザインセンター等の関係機関との連携強化を目指しています。

CDA会員の方で、70周年記念事業企画にご参加、推進に携わりたい方やまだ会員になられてない方でCDA事業に興味を持った方は、この機会にも事務局までお問い合わせいただければと思います。AI技術の目覚ましい進展は、商品開発やものづくりの現場、情報伝達の世界など、デザインを取り巻く環境を変えています。急激に変革する社会にあって、求められるデザイナー、クリエイターやデザイン団体の役割も大きく変わっていくものと思われます。

いずれにしても、今回のCDA70周年は、「令和」の幕開けに開催されるのもで、記念事業を通して、新たな時代のデザインの展望が少しでも見えてくればと思っています。

中部デザイン協会 理事長 森本 健



## 森本 健

中部デザイン協会 理事長 中部デザイン団体協議会事務局長 名古屋学芸大学名誉教授  
1945年愛知県名古屋市生まれ。1969年愛知教育大学教育学部美術科卒業。  
愛知県庁入庁。愛知県職員としてデザイン振興施策に携わり1986年の世界デザイン会議(ICSID89Nagoya)、世界デザイン博覧会の開催事務を推進。  
その後瀬戸窯業技術センター、国際デザインセンター(出向)、工業技術センター勤務を経て世界グラフィックデザイン会議開催運営会(出向)を最後に愛知県退職。  
2004年名古屋学芸大学デザイン学科教授、2011年4月客員教授、キャリアサポートセンター参加。